



うらそえ 誰もが安心して暮らせる  
福祉のまちづくりを目指して!

# 社協だより

10  
October  
2020  
(令和2年)

第378号



赤い羽根は小さなことをしています。



## 手話言語条例 Part53

今回紹介する手話は「柿」です。10月と言えば柿が旬の季節ですね。柿にはビタミンA・C、カリウムが豊富に含まれており、「柿が赤くなれば、医者が青くなる」と言われるほど栄養価が高い食べ物です。疲労回復や風邪予防にいかがでしょうか。



右手の指を曲げたら手を口の前に持っていき2度上下させます。

ご寄付ご寄贈ありがとうございました。 令和2年8月11日～令和2年9月10日

**福祉事業への寄附・寄贈**

- 浦添市伊祖1-1-21 502号室 公益社団法人 青年海外協力協会 様より 3,000円 ※地域活性化助成事業のヒヤリング謝金として
- 浦添市勢理客4-21-7 三和金属 株式会社 様より 500,000円
- 浦添市仲間2-8-6-101 銘刈 寛 様 20,000円

**香典返し**

- 浦添市屋富祖3-34-7 比嘉 彦晃 様より 50,000円 ※故(妻)比嘉 輝子 様の香典返しとして

## 福祉施策・財政支援強化を浦添市に要請しました

浦添市社会福祉協議会(久貝宮一会長)と沖縄県市町村社会福祉協議会連絡協議会は、令和2年8月24日(月)に松本哲治市長を訪ね、当会の福祉施策・財政支援強化を要請しました。

- ①人員配置への行政補助金の支援強化
- ②「日常生活自立支援事業(判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助等)」推進への補助
- ③災害ボランティアセンターの設置・運営に関する予算確保

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活困窮者への対応や、新たな地域支え合い体制の構築など、社協の役割はますます求められていると説明する久貝会長に対して、「可能な限り応援を尽くしたい」と市長から心強い言葉をいただきました。当会はこれからも行政と力合わせ、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指していきます。



## うらそえ社協

- 6日(火) 音訳ボランティア養成講座(1回目)
- 7日(水) ふれあい給食サービス 法律相談 手話ボランティア講座(2回目)
- 10日(土) カウンセリング相談
- 13日(火) 音訳ボランティア養成講座(2回目) 家計相談
- 14日(水) ふれあい給食サービス 司法書士相談 手話ボランティア講座(3回目)
- 20日(火) 音訳ボランティア養成講座(3回目)

## 10月スケジュール

- 21日(水) ふれあい給食サービス 法律相談 手話ボランティア講座(4回目)
- 22日(木) 点訳ボランティア養成講座(1回目)
- 24日(土) カウンセリング相談
- 27日(火) 音訳ボランティア養成講座(4回目)
- 28日(水) ふれあい給食サービス 手話ボランティア講座(5回目)
- 29日(木) 点訳ボランティア養成講座(2回目)

※内容は変更になる場合があります。

## 40年の信頼と実績

損害・生命保険総合代理店



代表取締役 新垣 耕 憲

〒901-2126 浦添市宮城2丁目24-2  
TEL (098) 878-0025 FAX (098) 877-2122

保険選びは…相談がいちばん!

今からは **自助努力の時代!**  
がん保険・医療保険にぜひご加入ください。

あい保険工房

営業日:月～土曜日 9:00～18:00

発行/社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 〒901-2103 浦添市仲間 1-10-7

編集/社協だより編集委員会 電話:098-877-8226 FAX:098-875-1613

http://www2.urasoeshakyo.org/ E-mail:u-shakyo@urasoeshakyo.org

自治会に加入しましょう! 詳細はHPへ



標語 3

「ありがたう 言われた人もいい気持ち」

「神森中学校 2年1組 仲地 瑠璃」

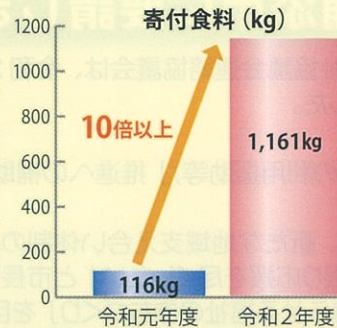
標語 4

「思いやり 地域のみんなで助け合い」

「神森中学校 2年5組 成底 和」

# 8月 ボランティア月間 フードドライブ ~広がる温かい支援の輪~

浦添市ボランティア連絡協議会と浦添市社会福祉協議会は、8月のボランティア月間の取り組みとしてフードドライブ活動を行い、企業や市民の皆様へ食料の寄付の呼びかけをしました。その結果、昨年度と比較して10倍以上の食料の寄付がありました。また、生活苦のために4,5月頃に当会から食料支援を受けた方が、「支援のおかげで苦しい時期を乗り越えることができました。今度は私が恩返しをしたい。」と話して食料の寄付をするなど、温かい支援の輪が広がっています。



【受付窓口】 浦添市ボランティア連絡協議会 電話：874-4932 浦添市社会福祉協議会 電話：877-8295



## 浦添市歳末清掃支援事業 申請受付開始!

市内在住の高齢者および障がい者世帯に対し、年末の清掃を支援することで、あらたな気持ちで新年を迎えていただくことを目的としています。

- 主な清掃作業：庭の清掃、草むしり、簡単な草木の剪定など。※担当者が適当でないと判断する作業は対象外となります
- 申し込み方法：申請書へ記入後、本会窓口へ書類を提出。
- 対象世帯：市内在住の高齢者及び障がい者世帯で、本人や家族・公的サービスでは清掃が難しい世帯など。
- 募集世帯：20世帯
- 申込締切：令和2年10月23日(金) 17:15必着

\*清掃の可否については申請後、対象者の自宅に担当者が訪問調査を行い決定いたします。  
\*新型コロナウイルス感染症の影響等により内容を変更する場合があります。

問い合わせ先：浦添市ボランティア・市民活動支援センター 担当：高嶺 Tel：877-8295 Fax：877-8236



## あなたのまちの地域福祉協力員 Vol.17



神森中学校区の地域福祉協力員の萩原清己さんは、民生委員活動を定年してからも「地域の為に頑張っていきたい」と子ども達の為に、交通安全活動や地域の美化活動を行っています。

「生涯現役」を人生の目標としていて、動物愛護活動やパソコンなど色々な分野にチャレンジしています。

☆萩原さんからひとこと☆

「これまでの経験を活かして、地域の皆さんとの関わりを大切にしながら活動を頑張りたい! よろしくお祈りします」

萩原清己さん 地域：神森中学校区

※地域福祉協力員は随時募集しています。詳細はお問合せ下さい

\*\*\*社協だよりは、社協会員会費により作成されています\*\*\*

標語 1

「あたたかい 君の一言 笑顔咲く」

「港川中学校 2年4組 金城 琴」

標語 2

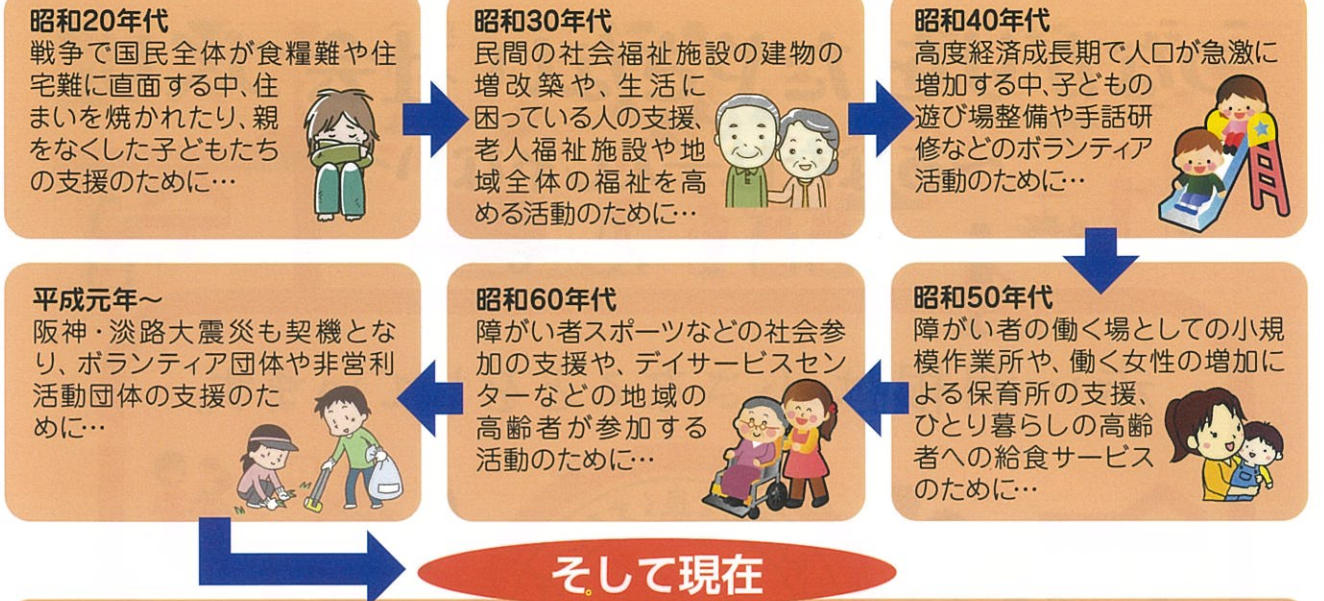
「この町を 笑顔の人でいっぱい」

「港川中学校 3年2組 又吉 昇平」

# 赤い羽根共同募金のはなし

## ~共同募金70年の歩み~

赤い羽根共同募金は戦後、戦争で親をなくした子どもたちや、生活に困窮する人々を支援することを目的に始まりました。時代が変化していく中、様々な問題やニーズに柔軟に対応しながら解決の仕組みづくりを行ってきました。



地域では社会的孤立の状態にある人々が増加するとともに、孤立がもたらす孤立死、自殺の問題をはじめ、不登校や引きこもり、経済的困窮や虐待、DVなどの課題が顕在化してきています。課題に対応する新しい制度は次々と取り入れられていますが、制度からもれてしまう「すき間」もできます。共同募金は一貫して、刻々と変化するニーズに臨機応変に対応するために、事業を開拓し、開発し、課題にそう即応した解決の仕組み作りを行ってきました。これは制度の「すき間」を埋める絶え間ない努力の歴史です。共同募金は、今後も、制度の「すき間」を埋めるための活動を続けていきます。



## 令和2年度 赤い羽根共同募金運動

運動期間 令和2年10月1日~令和3年3月31日

令和2年度浦添市の目標額 **17,072,000円**

つながりをたやさない社会づくり ~あなたは一人じゃない~

10月1日より、全国一斉に赤い羽根共同募金運動がスタートします。浦添市の皆様の善意で集められる共同募金のおよそ64%が浦添市内の地域福祉推進のために、およそ36%が沖縄県内における子どもの育ちや学びを支える事業や、災害ボランティア活動の支援などに使われます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、収入の減少や企業の業績悪化等により、募金額の減少が予想されます。しかし、共同募金は、地域の支え合いを基本に「誰もが安心して暮らせる福祉のまち」づくりを目指して、地域課題を解決する動きを作り続けるために必要な財源となっています。今、こんな時だからこそ、「あなたは一人じゃない」といえる浦添市であるために、赤い羽根共同募金へご支援・ご協力をお願いいたします。

社会福祉法人 沖縄県共同募金会 浦添市共同募金委員会  
浦添市仲間1-10-7 (浦添市社会福祉協議会内) TEL 877-8226 FAX 875-1613

\*\*\*社協だよりは、社協会員会費により作成されています\*\*\*